

お知らせ

<2008年1月から2014年3月までに川崎医科大学附属病院呼吸器外科において

原発性肺癌に対して手術を受けられた患者さんへ>

研究課題名：新しいエネルギーデバイス（Vessel Sealing System）の導入に伴う、

肺癌根治手術の現状とその安全性に関する検討

近年、原発性肺癌に対する手術はより侵襲の少ない内視鏡手術（胸腔鏡手術）が行われています。胸腔鏡手術は新しい手術器機の開発・進歩に伴い、これまで『外科医の手』によって行われてきた処置が手術器機で行われるようになり、より侵襲が少なくかつ安全に施行されるようになっていきます。

私達は、2008年1月から2014年3月までに当院呼吸器外科で原発性肺癌に対して手術を受けられた方（一部の方は除きます）を対象として、手術における手術道具・器機の使用状況を検証して、さらに安全かつ効率的な手術方法が確立できるよう検討を行います。具体的には診療録（手術記録および胸腔鏡映像）より手術に関連するデータ（手術に用いた器機の種類、手術時間、出血量、術後の経過など）を収集して解析を行います。遺伝子の検索は行っておりません。

この研究への参加を希望されない方、データの送付を希望されない方は、川崎医科大学附属病院呼吸器外科ホームページ（<http://www.kawasaki-m.ac.jp/gts/>）から電子メール（[gts@med.kawasaki-m.ac.jp](mailto:gts@med.kawasaki-m.ac.jp)）、または川崎医科大学呼吸器外科学教室（直通 086-462-1124）または下記研究者に連絡をお願いします。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが生じかねない状態を利益相反状態といいます。この研究では学内研究費のみを使用する臨床研究であるため、このような利益相反の状態にはなりません。

なお、この研究は川崎医科大学・同附属病院倫理委員会の審査・承認を得ていますことを申し添えます。

問い合わせ先：川崎医科大学附属病院呼吸器外科 期限付講師 最相晋輔

電子メール：gts@med.kawasaki-m.ac.jp

TEL：川崎医科大学病院代表(086-462-1111) 呼吸器外科実験室(内線 25519)

FAX：086-464-1124